

デジタルアートイベント（令和5年度）

テーマを「歴史の彩り ～今この瞬き（とき）を味わう～」として、歴史的空間をデジタルアートで彩り、今しか見ることができない「令和の大修理」を特別な瞬間として見て体感していただくことを目指しました。



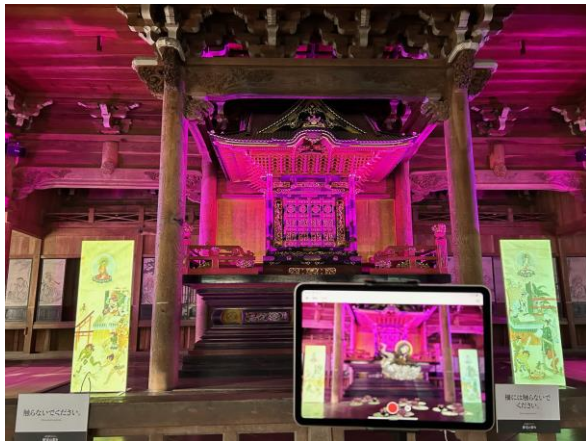
ポスター▶

西福寺（敦賀市）

日時 2月24日（土）・25日（日）10時～16時

内容 名勝庭園や御影堂でのAR作品出現、御影堂でのデジタル掛け軸、文化財ミニツアー

参加者 約300名



御影堂でのデジタル屏風、タブレットAR（法然上人）



御影堂名勝庭園でのタブレットAR（御来迎）



ミニツアー（歴史のお話）



ミニツアー（四周廊下にて）



古文書コーナー



おおはらの里



来場者調査

国重要文化財
西福寺
SAIFUKUJI
TSURUGA

越の秀嶺 西福寺

福井の文化財を未来へプロジェクト
令和の大修理 × デジタルアート

歴史の彩り

rekishi no irodori

「歴史の彩り」では、デジタルアート(デジタル演出)を加え
日常とは異なる「西福寺」の美しさを心ゆくまでご堪能ください。

令和6年 2月24日(土) - 25日(日) 10:00 - 16:00
入場料(拝観料): 無料

会場: 西福寺(国重要文化財) 福井県敦賀市西福13-7
予約: 西福寺 福井県敦賀市西福寺 文化財課 福井県敦賀市西福寺 西福寺文化財課
お問い合わせ: info@saifukuji.jp 電話: 076-243-0910

▲当日配布
リーフレット▶

大原山妙法院 西福寺

越の秀嶺

徳川御三家、御三卿、越前・会津(松平)家の方がご住職となられた寺は「秀嶺」と呼ばれます。家康公の孫、十代わが結城秀康の子が西福寺の21世住職であり、詳細且つ厳重な取扱いが必要な15舟の三つ巻襦袢の使用が済された。

【書院庭園】(国名勝)
江戸中期の作で、築山浄土を地上に表現したといわれる庭園。石が如來と菩薩、楠木が雲を表す。昭和7年、名勝指定。

【書院】(国重要文化財)
庭園を望む書院は、天和3年(1683)の建築で、開放的で洒落た意匠の座敷をもつ。前身の建物は結城秀康公が発願、寄進したという逸話が伝わる。

【四修廊下】(国重要文化財)
御影堂から阿弥陀堂をつなぐ渡り廊下で、浄土念仏の心構え「四修行法」にちなみ、四修廊下と呼ばれる。阿弥陀如来の東遷により、雲上を渡って築山浄土へと、その様子を表す。

文化財ミニツアー

書院から阿弥陀堂、御影堂と解説付きで巡ります!

●11:00～●14:00(～14日にも)
※開始時間前、書院にお集まりください。
(予約不要 所要時間:約40分)

【デジタル演出】
MR 3Dアート(複合現実) M プロジェクションマッピング
【文化財情報】
T 文化財(文書) MR 文化財(木造) 無 文化財(土器) 黄 文化財(瓦)

国重要文化財の建物

現在みられる御影堂は近世を通じて整えられた。御影堂と阿弥陀堂はともに浄土宗本堂の典型的平面をもち、書院及び庫裏は庭園と一体となって豊かな風致を創出し、高い価値が認められる。平成20年、重要文化財指定。

【御影堂】(国重要文化財)
御影堂は浄土宗開祖の法然上人を祀り、本殿、大廳とも呼ばれる中心の建物。文化5年(1808)の上棟を要した。建設着手から落成まで約13年を要した。御影堂は寺格に相応しく、壮大で華麗なお堂。これから約8年の大修理へ、修理直前の様子を見ることが出来る最後の機会!

【スダジ】
爾暦650年、園山良如上人の御手觸しと伝わる。市天然記念物。西側のスダジが新日本館本百選指定。

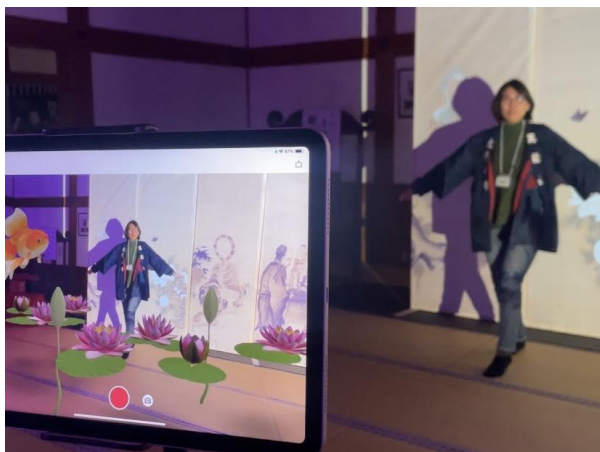
【阿弥陀堂】(国重要文化財)
阿弥陀堂は阿弥陀三尊を祀る。文禄2年(1593年)に中興道成上人が一乗谷から移築し、改築したと伝わる。中興道成上人の名残をどども、浄土宗阿弥陀堂として古例であり、貴重。

大安禅寺

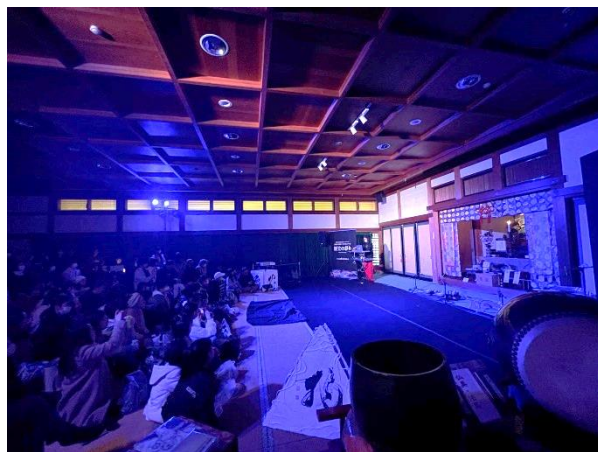
日時 3月17日（日）10時～16時

内容 境内の各建物をARやLED、プロジェクションマッピングなどのデジタルアートで演出、特別ライブパフォーマンス実施、文化財ツアー

参加者 約500名



デジタル屏風、タブレットAR



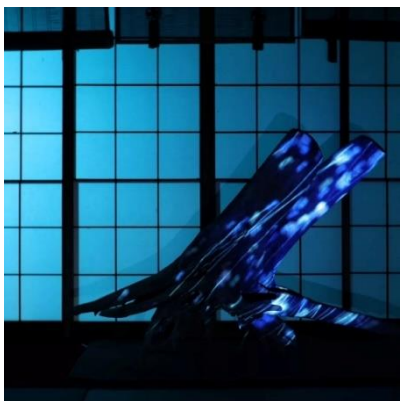
ライブパフォーマンス



アート作品



文化財ツアー（千畳敷）



プロジェクションマッピング



来場者調査



集合写真

大安禅寺

DAIANZENJI
FUKUI

重要文化財

今この瞬きを味わう

福井の文化財を未来へプロジェクト
令和の大修理 × デジタルアート

歴史の彩り

rekishi no irodori

令和6年3月17日(日) 10:00-16:00

入場料(拝観料)：一般500円(大学生・高校生以下無料)

越前松平家永代菩提所 臨濟宗妙心寺派
萬松山 大安禅寺

今を越えて1300有余年、時の高僧泰澄大師が竜毛山田谷寺を創建し門前市を全すほどに越前庶民の信仰を得ましたが、天正2年織田信長の越前攻略の兵火に遭い、全山焼失し法灯850年の歴史に幕を閉じることとなります。その翌地に、万治元年(1658年)第4代福井藩主松平光通公が、時の名僧大愚宗策禪師に深く師範され内親、及び祖先の恩を忘れないために、福井藩主松平家の永代菩提所として建立されたのが大安禅寺です。本堂をはじめとする諸堂が国指定重要文化財です。現在約10年以上に及ぶ「令和の大修理」中です。

重要文化財・大安禅寺の建物
大安禅寺の境内は山中にあり、本堂と東奥を中心に開山堂、開基堂、鐘樓などが並びます。福井藩菩提所として、江戸前期から中期にかけて高僧された壮麗な伽藍を今に伝えるとともに、各建物の意匠も優秀で、福井藩大王の高い力量を示します。平成20年に重要文化財に指定されました。

重要文化財本堂
ほか7棟保存修理事業



大安禅寺
HP



大安禅寺
Instagram



共催：大安禅寺、福井県教育庁生涯学習・文化財課 協力：福井市教育委員会事務局文化財保護課
協賛：大安寺観光協会 企画：OneArtC 運営：キオオソ合同会社 お問い合わせ：info@oneartc.jp

大安禅寺、福井県教育庁生涯学習・文化財課「福井の文化財を未来へプロジェクト」による「令和の大修理」デジタルアート「歴史の彩り」はデジタルアートを主としたアートプロジェクトを主催するアーティスト・タレント・アーティストチーム OneArtC が実施しています。

【枯木堂】

デジタル空間演出 (AR/MR)

3「良縁時空」(りょうゑんじくう) 松平家とデジタル世界が融合した「デジタル空間演出」を体験することができます。

4「御開帳」(ごかいだん) 特別 松平光通 由緒 3月16日(土)~4月13日(土)まで

LEDアート空間演出

4「御苜蓿」(ごもくご) 5「極彩札」(ごくさいしるし) 6「電鼓灯」(でんことう)

デジタル見学 (AR)

7「本堂工事デジタル見学」

【開山堂】重要文化財(指定10年建築)

9「四心境」(よんしんきやう) デジタルアート

10「瞬き雨」(まばたきあめ) デジタルサウンドアート

11「Shinboku」(しんぼく) デジタル空間演出


【寺カフェ】ご利用のお客様へ

一期一会の茶花を100名さまにおひとり1本プレゼント!

1「chashitsu」(ちやしつ) 11:00~

2「故事人物花鳥園押絵貼り屏風」(かごじにんぶつからうやうおしゑりびやうぶし)

3「千景數ツアー」(せんけいすうたー) 11:00~START



松雲の間 入口 受付 売店 W.C. 枯木堂 開基堂 開山堂 中庭 鐘樓 本堂(工事中) 立入禁止区域

デジタル見学 (AR)

7「本堂工事デジタル見学」

修理見学を最新技術を使って、昔の工さんの様子を楽しんで AR 見学できます。

【開山堂】重要文化財(指定10年建築)

9「四心境」(よんしんきやう) デジタルアート

10「瞬き雨」(まばたきあめ) デジタルサウンドアート

11「Shinboku」(しんぼく) デジタル空間演出

【枯木堂】

デジタル空間演出 (AR/MR)

3「良縁時空」(りょうゑんじくう) 松平家とデジタル世界が融合した「デジタル空間演出」を体験することができます。

4「御開帳」(ごかいだん) 特別 松平光通 由緒 3月16日(土)~4月13日(土)まで

LEDアート空間演出

4「御苜蓿」(ごもくご) 5「極彩札」(ごくさいしるし) 6「電鼓灯」(でんことう)

デジタル見学 (AR)

7「本堂工事デジタル見学」